

堺線香を守る奥野晴明堂における 伝統と革新の経営バランス

上野ゼミ線香班

社23-1569 木村理紗子

社23-1617 土田佳緒梨

社23-1635 西原有紗

社23-1722 米富衣都

1

奥野晴明堂について

- 享保年間創業の老舗堺線香店
- 「香を通じて、感動と誇りを追求し新しい感動を伝え続ける。」ことを経営スローガンに掲げる
- 先祖から伝わる「不易流行」「温故知新」を大切にしながら、新たな革新を取り入れることも積極的に行う



2

奥野晴明堂の伝統と革新について

3

伝統とは

- 伝統は「価値の意識」であり、我々は一定の伝統を単に習慣的に守るのではなく、守られるべき価値として、「由緒の正しいもの」として、自ら引き受けその正しさを継承する。いわばその正しさを、我々自身の主体性によって支えるのである。（石山敬雄『伝統を考える』）



- 伝統とは、単なる習慣ではなく、価値あるものとして私たちが主体的に認識し、自らの意思で支えながら継承するものである。

4

奥野晴明堂における伝統

①「先祖から受け継ぐ伝統」

- ・製法、技術面

→極力機械化をおさえ、手作業を重視

②組織・職人の在り方

→マニュアル化された知識ではなく、人から人へ受け継ぐ

5

奥野晴明堂における伝統

③価値観

「品質を守ることへの強いこだわり」

→独自の香りの調合

売れるかどうか以前に、

「自分たちが誇りをもてるか」、「歴史に恥じないか」

6

革新とは（イノベーションとは）

- 一般的には「技術革新」と訳される。
- イノベーションとは
「技術の革新にとどまらず、これまでとは全く違った新たな考え方、仕組みを取り入れて、新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすことである」と定義（内閣府「イノベーション25」）
- シュンペーターの定義
「イノベーションとは、新たな生産機能の一つである」、あるいは、「イノベーションとは、要素を新しいやり方で結合する。または、イノベーションとは新結合を遂行することにある」

7

シュンペーター『経済発展の理論』

- シュンペーターによれば、経済発展とは、
- 「新結合」の実行である。
- 新結合とは具体的に：
 - 1 新しい財の生産
 - 2 新しい生産方法の導入
 - 3 新しい市場の開拓
 - 4 新しい原材料・供給源の獲得
 - 5 新しい組織の実現
 である。

8

奥野晴明堂における革新（イノベーション）

奥野晴明堂では次のような新結合が見られる

- ・時代のニーズに合わせたさまざまな商品の開発
 - 昔：仏事向けの商品
 - 現代：日常生活でも親しめるような商品
（香りの種類が増加）
- ・パッケージへのこだわりとメッセージ性を重視
- ・関西大学の学生とのコラボ商品も！



9

- ・伝統を守る→革新が失われる
- ・革新する→伝統が失われる



奥野晴明堂は

「伝統を守ること」と「新しいことに挑戦すること（革新）」
の二つを同時に追いつける経営を行っている

10

二兎を追う経営

11

【二兎を追う経営とは？】

●二兎＝矛盾する経営目標

例えば、

- ・ 低価格 × 高品質
- ・ 効率性 × 創造性
- ・ 安定性 × イノベーション
- ・ 短期利益 × 長期投資



普通は、「トレードオフ（どちらかを取れば、もう一方は犠牲）と考えられる組み合わせ」

浅羽茂は、

「普通は両立できないと言われる“二つの矛盾した目標”をあえて同時に追う企業こそが強くなる」と述べる

12

ユニクロの事例



- **低価格・高品質** で成功している
- 普通なら低価格にすれば低品質になるが、ユニクロは高品質を提供している
理由：大量生産、一気通貫性、在庫リスクの軽減
 - →コスト削減につながっている
 - →「**二兎**」を追う経営が成り立つ

13

奥野晴明堂の事例

伝統・革新 で成功している

革新を起こすと、伝統を守れなくなるが、両立している

理由：伝統を守ることと革新を起こすことの目的は同じ（目的＝価値を未来に残すこと）

- →「**一兎**」を追う経営と言えるのではないだろうか

14

まとめ

- ユニクロ：矛盾する価値を同時に追求（二兎）
- 奥野晴明堂：伝統と革新をもとに価値を未来に残す（一兎）



- 奥野晴明堂の革新は、矛盾ではなく **価値の継承** である

15

まとめ

【大切にしていること】

- 「自分が面白いと思ったことはすぐに挑戦すること」
- 「やり続けること」→ 3割打者を目指す
- 「51%の理想と49%の現実」

→未来に価値を残す

16

参考文献

- 浅羽茂(2024)『二兎を追う経営』, 日本経済新聞出版。
- 石山敬雄 (1968) 「伝統を考える」『室蘭工業大学研究報告 文科編』第6巻 第2号pp. 289-306。
- 小林信一 (2018) 「シュンペーター, イノベーション, 技術革新 (〔連載〕科学技術・イノベーション政策のために第5回)」『科学』第88巻、第4号, pp.416-423。
- シュンペーター, J. A. (1977) (塩野谷祐一・中山伊知郎・東畑精一訳)『経済発展の理論: 企業者利潤・資本・信用・利子および景気の回転に関する一研究』上, 下、岩波書店。
- 内閣府『イノベーション25』, 2007。